

(様式3)

【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	安来市立第二中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合	ふるさとを知ろう 探究テーマを決めて、安来のひと、もの、ことを知ろう。	市内各事業所
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・探究テーマに沿って、調べることで安来のことを深く知る。 ・探究の方法を知る。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>総合的な学習の時間をふるさと学習のメインの場とした。「ふるさとを知ろう」を大きなテーマとして、観光、福祉、防災などの様々な分野について調べたり、外部講師を招き、体験的な活動を通して学んだ。学んだことを基にし、そこから自分の興味がある分野を選んで探究テーマを決め、ふるさとをより深く調べる活動を行った。具体的には、各自が設定したテーマについて深く知ることができる事業所を訪問し、体験活動やインタビュー活動を行った。また、探究した学習内容をまとめて2年生に発表し、意見をもらうことで、更によりものになるようにした。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>興味をもったことや知りたいことについて、地域に出かけ、地域の方から直接話を聞いたり、実際に見たりすることにより、ふるさとへの興味・関心を喚起できるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>探究学習のプロセス(問いを立て、情報を集め、分析し、まとめ・表現する)を学ぶことが、他教科の学習に生きるように計画した。課題設定の仕方、探究のための方法、収集した情報の整理、分析するための思考力・判断力、まとめたことを他者に伝えるための表現力を育てるよう単元計画を立てて進めた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>一人一人が探究テーマを設定したことにより、他者に頼るのではなく、自分自身でテーマに迫るための方策を考え、実践していく姿が見られた。例えば、聴覚障害をテーマとして探究した生徒は事業所訪問で学んだことをいかして、リアクションカードを作成した。作成したリアクションカードを安来市福祉課に持参し、活用してもらうように働きかけるなど、一歩踏み込んだ取組も見られた。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>どのような情報を集めると自分の探究テーマに迫れるのかを考えたり、どのようにまとめ、表現すると相手に伝わりやすいのか考えたりすることにより、思考力・判断力・表現力が育まれたと感じる。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>生徒に興味・関心をもたせ、探究テーマや課題を考えさせる過程に工夫をする必要があると感じた。やはり様々なものに触れたり、学んだりする実体験をとおして、疑問等が生まれ、興味・関心へとつながると考える。教師は様々な地域資源や教材を準備、活用する必要があり、外部機関との渉外が増えるため、調整(時間、お金等)の負担は大きくなる。今後は持続可能な方法で学習を進めていくための方法をさらに工夫・改善する必要がある。</p>			

活動の様子の一部(高齢者福祉体験)



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)